



2025年12月22日
第99号

**JR 東労組
Yokohama**



JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



**横地申第5号 「横浜線ワンマン運転について」に関する基本申し入れ
(その1・運車)【全27項目】団体交渉を行う！③**

6. 根岸線内の東神奈川駅から大船駅までの各駅に設置されているホームカメラについて、10両編成用に合わせられていて見づらいため、横浜線内と同様に8両編成できちんと4画面で表示されるように改良すること。

【会社回答】現時点において、ホームカメラを改修する計画はない。

組合

京浜東北・根岸線内は10両編成用にホームカメラが合わせられており、非常に見づらくなっている。8両編成用のホームカメラを増設できないのか。もしくは画角調整できないのか。

会社

横浜駅で言えば、画角は指導担当も立ち会い調整して必要な画角はとっている。ホームカメラ増設となると、場所の取り合いになってしまう。

横浜線内においても一部見づらい箇所がある。どういった基準で画像設定しているのか。また、2両映すのと3両映すのと何が違うのか。

編成長のドアを映すようにしている。

死角がないようにしていただきたい。

数ヶ月前にも横浜駅のホームカメラ画像を確認している。

横浜駅は会社としても気になるのか。

横浜駅と関内駅は注目している。必要な画角は確保している。

7. ホームドアについて、運転台に座った状態で助手側の定位置ベルトが見えるように改善すること。また、ホームドアセンサー支障を運転士側で判別できるように改善すること。具体的には、運転士が運転台に座った状態でホームドアセンサー支障が判別できるよう、特にスマートホームドアにおける運転士側の操作盤を改良すること。

【会社回答】運転士が助手側の定位置ベルトを確認できるよう改善を行っているところである。また、現時点において、ホームドアに関する機能改修を行う計画はない。

組合

そもそも定位置ベルトは何のために付いているのか。停止直前に見るものなのか、停止してから確認するものなのか。

停止位置修正する際に確認するものである。

ホームドアセンサー支障について、特にスマートホームドアの操作盤が助手側だと見えないので改良すること。

会社としても認識しているが、改善は難しい。慎重に対応していただきたい。

8. 快速通過時における列車側面の人身事故防止の観点から、初期型のスマートホームドアを改良すること。

具体的には、大口・小机・古淵・淵野辺・矢部の各駅における初期型スマートホームドアの下部、人が入り込めないようにバーを追加する等の改良をすること。また、通過時に側面で発生した人身事故について、運転士が刑事責任を問われないようにすること。

【会社回答】現時点において、ホームドア設備を改修する計画はない。

また、状況が異なることから、個別に対応することとなる。

組合

実際に、淵野辺駅下り線で快速通過時に側面から旅客がスマートホームドアの下部から飛び込んで触車する形で人身事故が発生し、車掌が気付いて非常停止手配を取った実績がある。初期型のスマートホームドアは後期型に比べて下部が開いており、人が入りやすくなっている。対策は講じないのである。

ホームドアは誤って転落や触車するのを防ぐものである。
意図的なものについては別である。

ワンマン運転により車掌がいなくなるため、側面で人身事故が発生した場合に運転士が気付くことはできない。運転士が刑事責任を問われないようにすること。

気付かなければ何もできない。状況を見て判断することとなる。

運転士が気付かなかった場合に刑事責任を問われないよう、フォローしていくことを確認できるか。

社員を守る側として、組合側と認識は一致できる。

確認

ワンマン運転開始後の後方防護について、どのように考えているのか。

ホームドアが整備されていることが前提。状況により、非常停止手配をとっていただくこととなる。

次号④へ続く